

万博・カジノ 総額を把握しないまま

事業費膨張1兆円

大阪市が把握する万博・夢洲まちづくり関連事業 4449億円※

- 夢洲におけるインフラ整備 …… 1937億円
- IR用地の液状化対策など …… 788億円
- 鉄道整備(南ルート) …… 610億円
- 道路整備(高架道路など) …… 228億円
- 夢洲物流車両の交通円滑化 …… 34億円
- 国際博覧会推進事業 …… 2206億円
- 会場建設費 …… 1850億円
- 大阪パビリオン建設・運営 …… 230億円
- 万博推進関連事業 …… 293億円
- 淀川左岸線仮設道路 …… 50.4億円

※事業間の重複を除いた総額

その他の関連事業 4122億円程度

- 万博運営費 …… 809億円
- ※チケット販売などの収益でまかなう計画
- 日本政府館建設・運営 …… 300億円程度※
- 誘致費用 …… 36億円
- 大阪府の子ども無料招待 …… 20億円
- 淀川左岸線2期工事 …… 2957億円

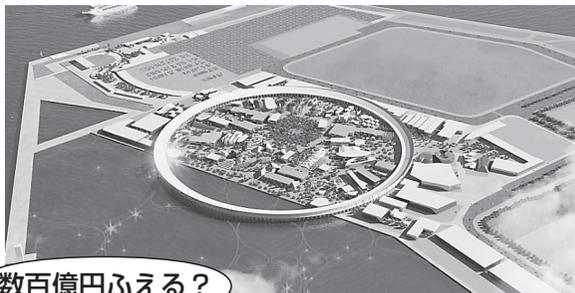
※総事業費は未定。2005年愛知万博での事業費(200億~300億円)に建設コスト上昇などを反映した規模を政府は想定

今後予定する事業 2816億円

- 万博跡地の液状化対策など …… 788億円
- IR拡張予定地の液状化対策など …… 257億円
- ※いずれも面積などをもとにした市の想定
- 警察力強化(夢洲署) …… 当初71億円
- 鉄道整備(北ルート) …… 1700億円
- ※14年、大阪府市IR立地準備会議で示した試算

さらに

政府の万博関連「インフラ整備計画」=21年8月
府市や関西広域連合など国への要望=今年6月



万博会場のデザイン図
(万博協会提供)

数百億円ふえる？

会場建設費は数百億円増？

国と大阪府・市が大阪湾の人工島・夢洲^{ゆめしま}で進める大阪・関西万博(2025年4月開催予定)。カジノ計画と一体です。

事業費は合わせて1兆円以上(左の表)。ところが万博の全体事業費を「しんぶん赤旗」日曜版編集部が万博協会、大阪府・市に尋ねたところいずれも回答不能。どこも総額をとりまとめていません。このもとで、なし崩し的に事業費が膨らんでいます。

四国・中国の道路にも

会場建設費は、資材高騰や人件費の高騰などのため現在の1850億円から数百億円上振れ(「しんぶん赤旗」21日付)。「万博・夢洲まちづくり関連事業費」には夢洲開発の費用も含まれています。インフラ整備として中国・四国地方の道路まで盛り込まれています。

日本共産党

共産党大阪府委 中止を要求

共産党大阪府委員会は、「命と安全が守られず、多大な負担を国民に押し付ける」として万博中止を求める声明を出しました(8月30日)。

開催まで1年半なのに着工した海外パビリオンはなく、間に合わせるため、来春から始まる建設業の残業時間規制から万博だけを外すよう国に求め、長時間残業をさせようとしています。

夢洲はゴミで埋め立てた人工島で、軟弱地盤であり土壌は汚染。維新府・市政が「夢洲ありき」で進めてきたからこそ建設費が増大し、工事が遅れているのです。

維新議員 公設秘書に2市議

無届け

報酬二重取り1000万円

維新の池下卓衆院議員(48)=大阪10区=が、地元・大阪府高槻市の市議



2人を公設秘書として雇用。兼職期間はそれぞれ約1年半と約4カ月で、税金が原資の秘書給与と議員報酬を二重に受け取っていました。秘書給与は約1000万円以上。公設秘書の兼職は議長に届ける必要がありますが、未提出でした。

ところが維新の藤田幹事長は「重たい処分をするつもりはない」「悪意があつてなされたものではない」とかばいました(20日、記者会見)。